



「里山物語」寄付金運用事例 第4号

～森のようちえん「ピッコロ」の東屋の建築資材費を寄付～

当社の間伐材を活用した寄付金付き印刷用紙「里山物語」を、多くの企業や団体の皆さまにご採用いただいた結果、寄付金が一定額に達しました。協業する NPO 法人里山保全再生ネットワークに選定していただき、第 4 回寄付金の活用先が決まりましたので、ご報告いたします。

採用いただいた皆さまに感謝申し上げますとともに、4 回目の「里山物語寄付金による団体支援活動」事例を下記のとおり紹介いたします。



1. 寄付金活用先

森のようちえん「ピッコロ」 山梨県北杜市須玉町上津金 1244

代表者 中島久美子

<http://www.mori-piccolo.jp/>

2. 団体概要

森の幼稚園とは、幼児の自然体験をはじめとする体験活動の欠如が指摘される中で、自然体験活動を基軸とした子育て・保育、乳児・幼少期教育の総称で、近年高く評価され始めています。森のようちえん「ピッコロ」では現在 32 名の園児がおり、森歩き、川遊び、歩く日（遠足）、誕生会、お話会、パン作り、調理（白飯の日）、畑仕事など、実際の「里山」を森の幼稚園として活用しており、里山の新しい価値創造にも貢献しています。

3. 選定理由

NPO 法人里山保全再生ネットワーク（代表理事：岩間敏彦氏）とはこれまで病児、障がい者、原発事故被災者等のために「里山」を活用している例を、新しい価値を持った「里山」として活用していける団体として支援してきましたが、一方で「こどもの健全な成長」に資する用途として、森の幼稚園にも注目していました。第 4 回の支援に当たって岩間代表がヒアリングを行った上で、下記の理由から「ピッコロ」を支援先に選定いたしました。

- ①里山を森の幼稚園として活用することで、里山の社会的な付加価値を高めている。
- ②休日だけ里山を活用する幼稚園が多い中で、毎日の通常保育に里山を活用している。
- ③遠隔地から入園希望が寄せられるなど人気があり、活動の持続性が期待できる。
- ④代表が山梨の子育て情報誌に連載を持つなど、発信力がある。
- ⑤幼児教育の問題点を解決したり、こどもの創造性を育むことを目的とするなど、しっかりとした理念のもとで活動している。
- ⑥距離的にも、内容的にも里山保全再生ネットワークが関わり続けることができる。

4. 支援内容

ようちえんでの子ども達の雨天の活動場所として東屋を作りたいとの中島代表のご要望により、その建築資材費の一部として、里山物語の寄付金を活用していただきます。なお、東屋は在園・卒園児の保護者たちが、木材の切り出し、皮むき作業から建築を進めています。



今後も「里山物語」を採用いただいた皆さまとともに、日本の森を守る活動、新たな里山支援と生物多様性を守る活動に取り組んでまいります。

以 上

今回の里山物語に協力いただいた企業・団体の皆さま（敬称略 公表了承済のみ）

ア～オ

アースデイ東京 2012

旭川商業高等学校

飯野海運株式会社

イーソリューション

石川県生活協同組合連合会

因幡電機産業株式会社環境システム事業部

株式会社エンジニア

株式会社オルタナ

カ～コ

唐津地区高等学合同吹奏楽団

認定特定非営利活動法人共存の森ネットワーク

株式会社共同通信社

株式会社グリニウム

コムシスホールディングス株式会社

サ～ソ

新宿区役所

新生紙パルプ商事株式会社

ソニー銀行株式会社

タ～ト

高山信用金庫

株式会社 T&D ホールディングス

テイエス企画株式会社

東邦化学工業株式会社

財団法人とやま環境財団

ナ～ノ

株式会社中島商店

日本コムシス株式会社

日本エディタースクール

株式会社公益財団法人日本自然保護協会

日本紙パルプ商事株式会社

ハ～ホ

株式会社東日本銀行

ヒューマン・ケア心の絆プロジェクト

株式会社プレシーズ

株式会社ブロンズ新社

北陸電力株式会社

マ～モ

株式会社毎日新聞社

丸楽紙業株式会社

ヤ～ヨ

八代第五中学校吹奏楽部

山梨県林業普及協会

株式会社横浜銀行

ラ～ロ

株式会社ロイヤルホールディングス